

～コミュタン福島便り～

●国立科学博物館巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者 in コミュタン福島」を開催しました。

平成30年12月18日から平成31年1月14日まで、コミュタン福島において国立科学博物館巡回展「ノーベル賞を受賞した日本の科学者 in コミュタン福島」を開催しました。

昭和24年に湯川秀樹博士がノーベル物理学賞を受賞して以来、科学分野においては20名以上の日本の研究者がノーベル賞を受賞しています。それぞれの受賞者の業績や幼少期のエピソード等を、パネルやゆかりの品のレプリカによって展示しました。

平成30年に本庶佑博士がノーベル生理学・医学賞を受賞された直後ということもあって、多くの来館者の方々にご覧いただきました。



テレビ局取材の様子



展示の様子

●サイエンスコミュニケーター育成講座を開催しました。

環境創造センターでは、福島の現状について正しく理解した上で、県内外の人々に分かりやすく説明することができ、また、県内外の人々が福島について考えるきっかけを提供できる人材の育成を目的とした、「環境創造センターサイエンスコミュニケーター育成講座」を昨年度から開催しています。

今年度は平成31年3月2日(土曜日)に基礎編、9日(土曜日)に応用編を開催しました。

基礎編では、科学やコミュニケーションに関する基礎的な学習や放射線に関する学習、実験等を行った後、サイエンスコミュニケーションの実践練習として、参加者間で実際にコミュタン福島の展示説明をする実習を行いました。

応用編では、基礎編の内容に加えて、サイエンスコミュニケーションに関するコンテンツの作成練習として、体験研修プログラムの企画立案と実習を行いました。

いずれの講座についても、高校生から70歳の方まで幅広い年齢層の方々に参加いただき、世代間のコミュニケーションも図りながら、楽しく学んでいただきました。



(基礎編)放射線等に関する実験の様子



(基礎編)展示説明の実習の様子



(応用編)体験研修プログラムの実習の様子



(応用編)講義の様子

●コミュタン福島ドーム映像作品が国際科学映像祭で会場賞を受賞しました。

「コミュタン福島」で上映しているドーム映像「福島ルネッサンス」が、平成31年2月17日から19日までギャラクシティ(東京都足立区)で開催された国際科学映像祭「ドームフェスタ」のショートフィルムコンテストで観客の投票により選ばれた「会場賞」を受賞しました。



「会場賞」の賞状

「ドームフェスタ」は世界的な注目度も高く、国内外から選りすぐりのドーム映像作品が集まるほか、映像制作のトップクリエイターからドーム映像のファンまで、幅広い参加者の活発な交流の場となっています。そのような「ドームフェスタ」の参加者の皆様からの支持による「会場賞」の受賞はとても光栄なことです。

「福島ルネッサンス」は、福島の四季折々の美しい自然や豊かな文化、原子力災害からの復興や新たな未来へ向かって進む希望を描いた作品で、コミュタン福島の全球型ドームシアター「環境創造シアター」で観ることができます。

コミュタン福島で、360度全方位の映像と音に包まれる「環境創造センター」を、ぜひご体験ください。

高校生のための化学物質リスクコミュニケーション講演会・交流会を開催しました!!

高校生を対象に、化学物質のリスクや、事業者と地域住民との相互理解、リスクコミュニケーションについて学んでいただくことを目的として、平成31年1月28日(月)に福島県立小高産業技術高校で、化学物質リスクコミュニケーション講演会・交流会を開催しました。

化学物質アドバイザーの河合直樹氏から、化学物質による事故や公害の紹介、化学物質の危険性やリスクについて、クイズ等を交えて分かりやすく説明いただいた後、生徒同士でトルエン濃度の測定を行い、その測定結果から「許容できる濃度なのか」「健康リスクを下げるためにどうすればよいか」について考えるグループワークを行い、それぞれ意見を出し合いました。

参加した生徒からは、「漠然と危険だという事は分かっていたけど、より詳しく知ることができた」「今後の学校の授業や実習に活かしていきたい」「会社で起こる様々なリスクを話し合っ解決することに活かしたい」などの感想が寄せられ、今後の学習や社会活動につながる取組となりました。

◇講演「化学物質のリスクを考える」～製造現場における化学物質管理の実際～

◇グループワーク

講師：化学物質アドバイザー 河合 直樹 氏



講演の様子



グループワークの様子

調査・分析部 放射能調査課の業務 ～県のモニタリング計画～

調査・分析部 放射能調査課では、いろいろな環境放射能モニタリング調査を実施しています。今回は「福島県の発電所周辺環境モニタリング計画」に基づく業務について紹介します。この計画は原子力発電所が設置されたときから県により策定され、調査が続けられているものです。東京電力福島第一原子力発電所の事故後もさらに強化して実施しています。

試料採取

放射能調査課では、県のモニタリング計画のうち、発電所周辺と比較するため、会津若松市や白河市など、県内各地の発電所から離れた地点で環境試料を採取し、放射線量を測定しています（発電所周辺の試料は南相馬市にある「環境放射線センター」で測定しています）。計画に従い、定期的に様々な試料を採取しています。



大気浮遊じん(ろ紙に吸引して採取)



上水の採取



降下物の採取



陸土の採取



松葉の採取

前処理・測定

試料は前処理(濃縮操作)を行うことで測定精度を上げています。固体試料は乾燥・灰化、液体試料は蒸発濃縮することで、そのまま測定するよりもずっと低い濃度まで測定できます。

その後、アルファ線、ベータ線、ガンマ線に応じた分析装置で放射能を測定します。



灰化炉(固体試料を灰化濃縮)



液体試料を蒸発濃縮



ゲルマニウム半導体検出器
(ガンマ核種の測定)



低バックグラウンド放射能測定装置
(ベータ核種の測定)



シリコン半導体検出器
(アルファ核種の測定)



液体シンチレーションカウンタ
(トリチウムの測定)

福島県環境創造センター

福島県の環境回復・創造に向けた「モニタリング」、「調査研究」、「情報収集・発信」、「教育・研修・交流」の業務を行っています。環境創造センターホームページより、県内市町村の空間線量、大気環境等のモニタリング情報を御覧いただけます。



福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」 入場無料

TEL.0247-61-5721 FAX.0247-61-5727

- 開館時間 9:00～17:00
- 休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合、翌平日)・12月29日～1月3日
- 売店、キッズスペース、授乳室、和室(飲食可)もあります。

ホームページ <https://com-fukushima.jp/>



車をご利用の場合 磐越自動車道船引三春ICより約5分

電車をご利用の場合 JR磐越東線三春駅より車で約12分

三春町営バスをご利用の場合 三春駅～環境創造センター(コミュタン福島)へ

コミュタン福島をご利用の方はバス料金無料 年末年始(12月31日～1月3日)を除き毎日(1日4便)運行



田村西部工業団地内、ドームが目印です。